

農技セ第2551号
平成19年8月31日

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成19年度農作物病害虫発生予察情報について

平成19年度農作物病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

平成19年度病害虫発生予察注意報第3号

平成19年8月31日
徳 島 県

農作物名 ネギ
病害虫名 シロイチモジヨトウ

1. 発生地域 青ネギ栽培地帯
2. 発生時期 9月上旬～
3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）
4. 注意報発令の根拠
 - 1) 8月24日に実施した巡回調査では発生圃場率が42.9%、50株当たり虫数が11.7頭で平年（54.5%、4.0頭）と比べて生息密度が高く、若～中齢幼虫主体の発生であった。
この時期としては、注意報を発令した平成17年度（100%、15.0頭）に次ぐ生息密度であった。
 - 2) 8月24日発表の1ヶ月予報では、気温は平年並または高い確率ともに40%と見込まれており、やや発生助長的気象条件である。
5. 防除法等
 - 1) 次世代の発生を抑制するためにも、被害を受けた植物残渣は圃場に放置せずに、確実に処分する。
 - 2) 幼虫の齢期が進んだり、食害して葉の内部に潜むようになると、薬剤による防除効果が著しく低下するので、早期発見に努め、若齢幼虫期に防除を行なう。
 - 3) ネギの集団栽培地帯においては、フェロモン剤による防除が効果的であるので、適切に使用する。
 - 4) 防除等の詳細については県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては農薬安全使用基準を遵守する。



図1 シロイチモジヨトウ若齢幼虫



図2 シロイチモジヨトウ中齢幼虫



図3 シロイチモジヨトウによる食害痕



図4 ネギの内側から食害するシロイチモジヨトウ



図5 シロイチモジヨトウ成虫